

Chiba University Formula Project Regular Report Vol.5

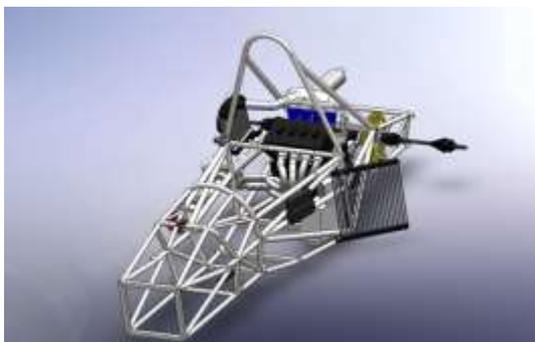


CF13 設計・製作レポート

今年の全日本大会に向けて、活動を開始しました 2013 年度 CUPF は、今年度マシン「CF13」の設計・製作を現在進めております。今月は、2 名の設計担当者から設計製作の現状、マシン製作レポートとしまして全体の製作状況を報告してまいります。

1.Power Train

川越 裕斗 (機械工学科 3 年)



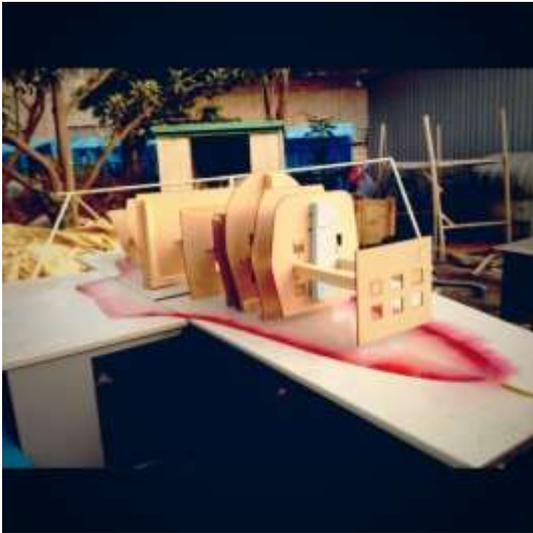
今年度パワートレイン班では、I H I 様から支援していただいた新しいターボチャージャーと丸紅様から支援していただいたABS樹脂製のサージタンクの搭載を主な変更点とし、残すは排気系を取り付けるのみとなりました。取り付け後、再三にわたるシェイクダウンの延期から、近々エンジン系のシェイクダウンを行う予定であります。私たちの予定としては、ま

ず、新しいターボチャージャーを実機で回し、その後微調整を行っていききたいという考えであります。また、昨年度の問題であった熱に関しても、今年はより熱を帯びないようクーラントを見直していきます。



2.Cowl

大倉 遼馬 (機械工学科 3年)



カウルはデザインも決まり、雄型の制作をしています。例年通りフレームの断面をレーザー裁断機を用いて作成し、スタイロフォームを貼付けて雄型を制作しています。今年は型紙を作る、作業台にガイド線を引くなど去年よりも制作の精度を上げ、より美しい造形ができるよう工夫して作業を進めています。現在はスタイロフォームを貼り削りしながら目的の形を探しているところです。全体の形を決める大切な工程なので妥協無く、丁寧に作っていきたいと思います。

マシン製作レポート

生田 智子 (機械工学科 3年)

マシンの製作物も残り少なくなり、メンバーが工場で作業する日も減ってきました。シャシーに関しては海外企業製品のダンパーの発注が難航したため日程に遅れが出てしまいましたが、足回りを残してはほぼ完成といったところです。パワートレインに関しては、無事点火式を終えエンジンを回すことが出来ました。

書類審査の期日も迫ってきています。チーム一丸となってデザインレポート、コストレポートの作成にあたっています。

一方、今年は1年生が2人チームに加わりました。人数こそは少ないですが、2人とも意欲的で今後の活躍に期待しています。

また、先日は学生フォーミュラに興味があるという高校生が見学に来てくれました。

次の世代にも期待がかかるなか、来年の第12回大会に向けた2014年度の活動についても話し合いが進められています。14年度では「Car×Fun ～モータースポーツに参加する魅力をより多くの人に～」というコンセプトが掲げられました。では、このコンセプトを達成できるマシンとは？ 今後はこのコンセプトを煮詰めて具体的なCF14の姿を決定していきます。

CF13 活動レポート

TOPICS①

学部長訪問

2013年3月11日に千葉大学工学部長 北村彰英先生へ2012年度の活動報告、および、今年度の支援要請のプレゼンテーションをさせて頂きました。

チーム史上過去最高順位を2年連続で獲ったことを評価して頂きました。また、今年度の活動についても支援を検討して頂けることになりました。

ただ、昨年11月に行われた千葉大学工学部祭にて、マシンが走っている様子を見ることが出来なかったのが残念だったとおっしゃっていました。工学部祭での展示は支援して頂いている多くの方々へその年のマシンを近くで見られる数少ない機会ですので、今年は走行している様子を見て頂けるようにしたいところです。

2013年度もCUFPは上位入賞を目指して活動して参ります。お忙しい中ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

(機械工学科3年 和田 健志)

TOPICS②

新入生歓迎会

入学してから1年がたち、2年生となって今度は自分が1年生を迎える立場になりました。

CUFPでも毎年4月に新入生の勧誘を行っており、今年も新入生に対してCUFPや全日本フォーミュラ大会の紹介、スポンサーについての説明やガレージの見学会などを兼ねた説明会を行いました。

事前準備では、ほかの2年生部員と協力しながら去年度を参考にしながら準備をすすめました。先輩方のアドバイスも受けて、1年生に分かりやすいような説明会にすることができました。

実際に説明会にきてくれた1年生は、真剣に耳を傾けてくれて、今まで車に興味が無かった人も興味を持ってくれたように感じました。ガレージ見学会では、去年度マシンや今年導入する新パーツを実際に見てもらいました。実際に触れてみせたりすることでより興味を持ってくれたと感じました。その後の新入生登録会では、CUFPの活動に理解を示してくれた新入生が来てくれて、正式にCUFPに入部することになりました。

自分たち2年生は新入生の担当は初めてでしたが、無事に部員を増やすことができました。これからも新入生のサポートを続けていきたいと思えます。

(機械工学科2年 湧井 紀光)

CF13 新入生紹介

**今年の全日本大会に向けて、CUFPにも2名の新メンバーが加わりました。
自己紹介もかねて意気込みを語ってもらいましたので、掲載させていただきます。**

●初めまして。2013年度から千葉大学フォーミュラプロジェクトに参加させていただき、千葉大学工学部機械工学科1年の石本祥之（いしもと よしゆき）です。

出身と現住所は千葉県の長南町で、茂原ツインサーキットの近くです。モータースポーツが大好きで、F1やインディアー、WECやWRCといった海外トップカテゴリーだけでなくSUPER GTやスーパーフォーミュラに代表される国内レースもよく観戦します。

この活動で、自分はドライバー兼テクニカルディレクターで大会3位以内を目標に日々向上していこうと思います。限りなく蜃気楼のような目標ですが、自分の大学生活のすべてを勉強とフォーミュラに費やすくらいの心構えで今後の大学生生活を送ろうと思います。

応援よろしくをお願いします。

●初めまして、2013年度新入生、千葉大学工学部機械工学科1年の小川 和也（おがわかずや）です。今年からCUFPに参加させていただくことになりました。

自分は幼いころからモータースポーツが好きで、その世界に携わりたいとずっと考えていました。だからこうやって学生フォーミュラに関わることができることを本当にうれしく思っています。まだまだわからないことばかりで戸惑うことも多いと思いますが、先輩方の話をよく聞き吸収していければと思います。

これからの活動では、自分はドライバーとしてだけでなく技術者としてチームに貢献できるよう精一杯考え、ベストを尽くしチーム全員で一丸となって切磋琢磨しあいながら活動していきたいです。

これからも応援よろしくお願いたします。

スポンサー

私たち千葉大学フォーミュラプロジェクトの活動は以下の企業、団体様よりご協力いただいております。このような貴重な勉強の場を与えて下さいましたことに、心よりお礼申し上げます。

※敬称略、50音順

Altrack	サイバネットシステム株式会社
出光興産株式会社	新宿ラヂエーター研究所
NTN株式会社	スーパーオートバックス市川
エヌ・エム・ビー販売株式会社	住鋳潤滑剤株式会社
学校法人 日栄学園 日本自動車大学校	住友電装株式会社
株式会社IHI	ソリッドワークス・ジャパン株式会社
株式会社今村商事	日本オイルポンプ株式会社
株式会社エフ・シー・シー	ダウ化工株式会社
株式会社ガレージC	タカタサービス株式会社
株式会社キノクニエンタープライズ	team August
株式会社日下製作所	千葉大学
株式会社クワハラバイクワークス	千葉大学工学部
株式会社城南キー	千葉大学工学同窓会
株式会社SEKI	東北ラヂエーター株式会社
株式会社デンソー	日信工業株式会社
株式会社トーキン	日本精工株式会社
株式会社東日製作所	日本発条株式会社
株式会社トヨタレンタリース千葉	丸紅情報システムズ株式会社
株式会社ハイレックスコーポレーション	茂原ツインサーキット
株式会社深井製作所	ヤマハ発動機株式会社
株式会社ミスミ	有限会社葵不動産
株式会社メタルワークス	有限会社春日不動産
株式会社ユタカ技研	有限会社トップラインプロダクト
株式会社レイズ	レイクラフトレーシングサービス
協和工業株式会社	

Special Thanks

千葉大学工学部

千葉大学自動車部

芦田 尚道

千葉大学工学部 実習工場

ホンダマイスタークラブ

レーシングガレージ ENOMOTO

今後も定期的に私達の活動の様子をお伝えして参ります。

CUFP2013 月例報告書 vol.4

発行／千葉大学フォーミュラプロジェクト

URL／<http://www.chiba-formula.com/>

2013年度プロジェクトリーダー 和田健志

Mail／x0t0680@students.chiba-u.jp